

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
鎮痛薬のGABAA、グリシン、NMDA受容体、GIRKチャンネルに及ぼす作用	原 幸治	麻酔科	1,600,000 円	補 文部科学科学研究費委
侵害刺激に対するアセチルカルニチンの鎮痛効果について	田村 仁美	麻酔科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費委
脊椎後根神経節細胞における未知なる痛覚伝達物質の検索および機能解析	南 浩一郎	麻酔科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
ヒト単球、好中球のミトコンドリア機能に与える手術侵襲・麻酔薬の影響について	緒方 政則	麻酔科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
スモンに関する調査研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	900,000 円	補 厚生労働科学研究費委
歩行支援ロボットを用いた片麻痺患者の歩行訓練と大脳機能賦活に関する臨床的研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	9,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
T4口腔がんの制御とQOL障害の回避	大矢 亮一	歯科・口腔外科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
W11癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	塚田 順一	化学療法センター	800,000 円	補 厚生労働科学研究費委
Toll-likeレセプターシグナルの制御による成人T細胞白血病細胞の増殖抑制	塚田 順一	化学療法センター	1,700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委

9件
80件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
重炭酸含有チューインガムによる胃食道逆流症の治療	芳川 一郎	内視鏡部	300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
致死性不整脈の発症に関わるイオンチャンネルの内因性メカニズムの解明	長友 敏寿	臨床研修等指導教員	1,100,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
内分泌かく乱物質のカテコールアミン神経系への影響とその受容体の検索	高橋 浩二郎	薬剤部	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費委
ガレワチン9を用いた新規白血病治療薬及び骨粗鬆症治療薬の開発	田中 良哉	第1内科	1,500,000 円	補 (株)ガルファーマ 委
芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査	太崎 博美	第2内科	1,000,000 円	補 芦屋町 委
HIV感染者等保健福祉相談推進研究事業	白幡 聡	小児科	1,890,000 円	補 (財)エイズ予防財団 委
新規アトピー性皮膚炎治療剤の薬理機序の解明	戸倉 新樹	皮膚科	3,300,000 円	補 科研製薬(株) 委
ケトプロフェンの光線過敏症メカニズム解明に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科	1,000,000 円	補 久光製薬(株) 委
新規抗原蛋白デリバリーシステムによる多価性癌ワクチンの研究	安元 公正	第2外科	8,000,000 円	補 文部科学省 委
高次脳機能障害者支援モデル事業	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	4,742,930 円	補 福岡県 委

10件
90件

2 論文発表等の実績（平成 18 年度実績）

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
痛みと臨床 6 :167 - 172 (2006 年 4 月)	ステロイド性骨粗鬆症の一次予防	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
腎と骨代謝 19 :121 - 128 (2006 年 4 月)	ステロイド性骨粗鬆症の治療のエビデンス	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 97 :672 - 675 (2006 年 4 月)	ステロイド誘発骨粗鬆症	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
臨牀と研究 83:566 - 572 (2006 年 4 月)	北九州地区における 2 型糖尿病患者の合併症調査	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科
Ann Rheum Dis 65 :508 - 514 (2006 年 4 月)	A phase I-II trial of autologous peripheral blood stem cell transplantation in the treatment of refractory autoimmune disease	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
分子呼吸器病 10:247 - 249 (2006 年 5 月)	リツキシマブと新たな臨床応用展開	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Biochem Bioph Res Co 344 :780 - 785 (2006 年 5 月)	Increased expression levels of monocyte CCR2 and monocyte chemoattractant protein-1 in patients with diabetes mellitus	Mine, S.	免疫・内分泌代謝 内科
Medical Practice 23 :568 - 575 (2006 年 5 月)	全身性エリテマトーデスの最新治療とその有用性	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 97:947 - 950 (2006 年 5 月)	副交感神経症状を契機に thiamazole 内服によるインスリン自己免疫症候群と診断しえた 1 例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
臨床免疫 45:29 - 34 (2006 年 6 月)	SLE 患者 T 細胞における $\beta 1$ インテグリンの意義	中山田 真吾	免疫・内分泌代謝 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
リウマチ科 35:429 - 433 (2006年6月)	関節リウマチに対するインフリキシマブ使用の実際	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 35:469 - 475 (2006年6月)	リツキシマの概要と欧米におけるエビデンス	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
アレルギー科 21:505 - 510 (2006年6月)	自己免疫疾患の抗体治療の現況	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
別冊日本臨牀 新領域 別症候群シリーズ (2):197-200 (2006年6月)	原発性低マグネシウム血症	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝 内科
最新医学 61:975 - 981 (2006年6月)	抗 CD20 抗体	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
最新医学 61:915 - 916 (2006年6月)	序論—自己免疫疾患治療の新時代の幕開け—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
整形・災害外科 49:667 - 675 (2006年6月)	インフリキシマブ	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
Diabetes Frontier 17:384 - 388 (2006年6月)	糖尿病合併症高血圧患者の外来随時血圧、早朝家庭血圧およびインスリン抵抗性の改善に関するテルミサルタンの効果の検討	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科
Clinical Immunology 119:297 - 306 (2006年6月)	Abnormal intracellular distribution of NFAT1 in T lymphocytes from patients with systemic lupus erythematosus and characteristic clinical features	Iwata, S.	免疫・内分泌代謝 内科
炎症と免疫 14:505 - 511 (2006年6月)	TNF と動脈硬化	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科

10件

20件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
炎症と免疫 14:556 - 559 (2006年6月)	ステロイド治療抵抗性と生物学的製剤による克服	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
Medicina 43:976-978 (2006年6月)	生物学的製剤による抗細胞表面分子療法	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
整形・災害外科 49:666 - 666 (2006年6月)	関節リウマチに対する生物学的製剤の効果と問題点	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
内科 97:1232 - 1233 (2006年6月)	混合性結合組織病	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
J UOEH 28:185-191 (2006年6月)	Intravenous cyclophosphamide pulse therapy is effective for refractory Graves' ophthalmopathy	Tanikawa, T.	免疫・内分泌代謝内科
血液フロンティア 16:1061-1070 (2006年7月)	各種病態での骨髄間質の異常—骨粗鬆症—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
糖尿病合併症 20:41 - 44 (2006年7月)	免疫と糖尿病—オーバービュー—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
リウマチ科 35:79 - 86 (2006年7月)	膠原病に合併するニューモシスチス肺炎の早期診断、早期治療	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝内科
治療学 40:781 - 785 (2006年7月)	生物学的製剤の現状と展望	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
CLINICAL CALCIUM 16:1315-1320 (2006年7月)	糖尿病性血管石灰化と骨代謝異常—骨血管相関—	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝内科

10件

30件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
プラクティス 23:448 - 451 (2006年7月)	躁うつ病に伴う食行動異常により著明な高脂血症および高血糖をきたしたと考えられた1例	新生 忠司	免疫・内分泌代謝内科
糖尿病合併症 20:63 - 64 (2006年7月)	免疫と糖尿病—イムノダイアベトロジーの幕開け—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
流 247:18 - 27 (2006年7月)	関節リウマチ治療の最先端へリウマチはなおせるかもしれない—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
BIO Clinica 21:915 - 919 (2006年8月)	全身性エリテマトーデスに対する抗 CD20 モノクローナル抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
炎症と免疫 14:607 - 611 (2006年8月)	マスト細胞からみた自己免疫疾患の病態と治療の新展開	澤向 範文	免疫・内分泌代謝内科
炎症と免疫 14:662 - 666 (2006年8月)	抗 CD20 抗体による SLE の治療	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
リウマチ科 36(1):108-114 (2006年8月)	ステロイド性骨粗鬆症の予防と治療	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
日本医師会雑誌 135:1053 - 1056 (2006年8月)	ステロイド薬の選び方と使用法のコツ	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
分子リウマチ 3:185 - 186 (2006年9月)	自己免疫疾患に関与する役者たち	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
分子リウマチ 3:247 - 251 (2006年9月)	RA に対する抗 CD20 抗体療法—寛解導入は可能か—	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科

10件

40件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
分子リウマチ 3:204 - 209 (2006年9月)	自己反応性B細胞による病態形成	野島 崇樹	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 49:637 - 643 (2006年9月)	IGT患者における1泊2日短期教育入院の 糖尿病進展予防効果	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
ホルモンと臨床 54:783 - 789 (2006年9月)	生物学的製剤による関節リウマチ治療と関 節破壊の改善	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:725 - 729 (2006年9月)	喫煙を契機に急性好酸球性肺炎を発症した と考えられた汎下垂体機能低下症 の1例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:731 - 734 (2006年9月)	多量の胸腹水貯留がステロイド投与により 著減した自己免疫性多腺性内分泌不全症 Ⅱ型 (Schmidt 症候群) の1例	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
臨床リウマチ 18:272 - 276 (2006年9月)	重症 RA に対する新規生物学的製剤へ適応 とリスクマネージメントへ	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
APLAR J Rheumatol 9:413 - 418 (2006年9月)	Anti-CD20 and other novel biotherapies for systemic lupus erythematosus	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
Visual Dermatology 5:1017 - 1019 (2006年9月)	P糖蛋白質関連	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
日本内科学会雑誌 95:177 - 182 (2006年10月)	炎症性免疫疾患に対する抗 CD20 抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Genes to Cells 11 :983 - 992 (2006年10月)	Growth suppression of human mast cells expressing constitutively active c-kit receptors by JNK inhibitor SP600125	Tsukada, J.	免疫・内分泌代謝 内科

10件

50件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ホルモンと臨床 54:132 - 137 (2006年10月)	著明な骨粗鬆症により flail chest をきたした原発性副甲状腺機能亢進症の1例	神田 加壽子	免疫・内分泌代謝 内科
診断と治療 94:1939 - 1944 (2006年10月)	生物学的製剤	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
内科 98:897 - 901 (2006年10月)	若年者におけるステロイド誘発性骨粗鬆症のマネージメントビスホスホネートの立場から	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:281 - 286 (2006年10月)	各種評価法を用いた最新治療評価の実際—インフリキシマブ有用性評価を例として—	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝 内科
Intern Med 45:1001 - 1005 (2006年10月)	Benign symmetric lipomatosis associated with alcoholism	Hirose, A.	免疫・内分泌代謝 内科
CLINICAL CALCIUM 16:1858 - 1865 (2006年11月)	ステロイド性骨粗鬆症の一次予防	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
日本臨床免疫学会会誌 29:319 - 324 (2006年11月)	膠原病治療に於ける薬剤抵抗性の臨床と基礎	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
Mebio 23:75 - 82 (2006年11月)	リツキシマブ：B細胞をターゲットにして何故効くのか？	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
臨床と研究 83:1752 - 1754 (2006年11月)	メシル酸カモスタット投与後に高カリウム血症を生じた一例	峯 信一郎	免疫・内分泌代謝 内科
日本臨床 64:2359 - 2366 (2006年12月)	関節リウマチと骨粗鬆症	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科

10件

60件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
感染 炎症 免疫 36:354 - 357 (2006年12月)	全身性エリテマトーデスと抗 CD20 抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
臨床と研究 83:1833 - 1836 (2006年12月)	特発性大腿骨頭壊死症とステロイド代謝の 関連性・患者背景についての検討	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科
Diabetes Frontier 17:799 - 804 (2006年12月)	蓄尿 C-ペプチドとインスリン使用量から みた強化インスリン療法後の内服薬への変 更の可否	河原 哲也	免疫・内分泌代謝 内科
Endocrine Journal 53:761 - 766 (2006年12月)	Serum Hyaluronan Concentration as a Marker of Angiopathy in Patients with Diabetes Mellitus	Mine, S.	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:552 - 556 (2006年12月)	どのような症例にインフリキシマブを使う か	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 36:600 - 604 (2006年12月)	MMP-3 によるインフリキシマブ有効性の予 測	名和田 雅夫	免疫・内分泌代謝 内科
J Biol Chem 281 :38089 - 38097 (2006年12月)	Fragmented Hyaluronan induces Transcriptional Up-regulation of the Multidrug Resistance-1 Gene in CD4+T Cells	Tsujimura, S.	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 37:29 - 36 (2007年1月)	リツキシマブ—DANCER/REFLEX 試験が示す もの—	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
分子リウマチ 4:50 - 55 (2007年1月)	膠原病に合併するニューモシチス肺炎の 早期診断、早期治療	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
内科 99:183 - 186 (2007年1月)	無症候性副腎腫瘍で経過観察されていた発 作型褐色細胞腫の1例	新生 忠司	免疫・内分泌代謝 内科

10件

70件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内科学会雑誌 96:138 - 140 (2007年1月)	長期経管栄養中に銅欠乏により白血球減少及びエリスロポエチン不応性貧血を来した1透析例	清水 少一	免疫・内分泌代謝内科
Apoptosis 12:45 - 54 (2007年1月)	Engagement of CD44 up-regulates Fas Ligand expression on T cells leading to activation-induced cell death	Saito, K.	免疫・内分泌代謝内科
治療 89:217 - 222 (2007年2月)	関節リウマチを疑う場合とその診断の進め方	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
治療 89:303 - 307 (2007年2月)	インフリキシマブの使い方と注意すべき副作用	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝内科
CLINICAL CALCIUM 17:386 - 390 (2007年2月)	ビスホスホネートと血管石灰化	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
細胞工学 26:286-290 (2007年2月)	我が国での抗体医薬	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科
臨床と研究 84:245 - 247 (2007年2月)	膠原病患者における糖尿病合併についての検討	岩田 慈	免疫・内分泌代謝内科
Mod Rheumatol 17:28 - 32 (2007年2月)	Retrospective clinical study on the notable efficacy and related factors of infliximab therapy in a rheumatoid arthritis management group in Japan (RECONFIRM)	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝内科
J Bone Miner Metab 25:138 - 141 (2007年2月)	A case of blue rubber bleb nevus syndrome treated by etidronate	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝内科
総合臨床 56:469 - 473 (2007年3月)	今後期待される生物学的製剤	田中 良哉	免疫・内分泌代謝内科

10件

80件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharma Medica 25 :83 - 88 (2007 年 3 月)	関節リウマチ治療のパラダイムシフト	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
痛みと臨床 7:193 - 199 (2007 年 3 月)	生物学的製剤の使い方	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
リウマチ科 37:256 - 261 (2007 年 3 月)	全身性エリテマトーデスに対する抗 CD20 モノクローナル抗体	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
CLINICAL CALCIUM 17 :157 - 163 (2007 年 3 月)	タクロリムスと関節破壊	田中 良哉	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 50:207 - 211 (2007 年 3 月)	抗インスリン抗体陽性で反応性低血糖を合 併した1例	森 博子	免疫・内分泌代謝 内科
内科 (3) : 565-568 (2007 年 3 月)	急性肝不全および両心不全を併発し救命し えた甲状腺クリーゼの1例	廣瀬 暁子	免疫・内分泌代謝 内科
治療 88(4) :1313- 1316 (2006 年 4 月)	利尿剤を併用する場合の種類と量はどうぞ すればいいのか	山下 和仁	循環器・腎臓内科
心電図 26(3) :47-59 (2006 年 5 月)	神経調節性失神	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Circulation Journal 70(6) :657 - 661 (2006 年 5 月)	Pharmacological conversion of persistent atrial fibrillation into sinus rhythm with oral pilsicainide -Pilsicainide suppression trial for persistent atrial fibrillation II	Abe, H.	循環器・腎臓内科
心臓 38(2) :7- 9 (2006 年 5 月)	難治性重症起立性低血圧に対する心房高頻 度ペーシングの効果	河野 律子	循環器・腎臓内科

10件

90件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸と循環 54(8):869-873 (2006年8月)	神経調節性失神に対する運動療法	河野 律子	循環器・腎臓内科
Therapeutic Research 27(9):1792 - 1794 (2006年9月)	心室ペースング部位の違いによる血行動態の検討右室心尖部ペースングと右室流出路ペースングの検討	河野 律子	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 20061(2):1 - 7 (2006年11月)	心室中隔ペースング	安部 治彦	循環器・腎臓内科
心電図 26(6):819-824 (2006年11月)	神経調節性失神患者に対する起立調節訓練の治療継続性と失神再発に関する検討	河野 律子	循環器・腎臓内科
INTERNATIONAL HEART JOURNAL 47(6):911-917 (2006年11月)	Bosentan Improved Syncope in a Hemodialysis Patient With Pulmonary Hypertension and Mild Aortic Stenosis	Yamanaka, A.	循環器・腎臓内科
Europace 8:1017-1021 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope. A document in need of thoughtful revision.	Abe, H.	循環器・腎臓内科
J Am Coll Cardiol 48(12):2598 - 2599 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope need rethinking	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Clin Auton Res 16(6):363 - 368 (2006年12月)	The ACCF/AHA scientific statement on syncope. A document in need of thoughtful revision.	Abe, H.	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27(1):92 - 98 (2007年1月)	Statin Treatment Upregulates Vascular Neuronal Nitric Oxide Synthase Through Akt/NF-kappaB Pathway	Tasaki, H.	循環器・腎臓内科
PACE 30:S203-S206 (2007年1月)	Effects of atrial tachypacing on symptoms and blood pressure in severe orthostatic hypotension.	Kohno, R.	循環器・腎臓内科

10件

100件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内科学会誌 96(1):150-152 (2007年1月)	脳髄黄色腫に微小変化型ネフローゼ症候群を合併した1例	芹野 良太	循環器・腎臓内科
心エコー 8(1):12 - 22 (2007年1月)	Tei index	尾辻 豊	循環器・腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol 292:H2824 - H2831 (2007年1月)	PTEN reduces cuff-induced neointima formation and proinflammatory cytokines	Okazaki, M.	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):1 - 11 (2007年2月)	失神の診断・治療の現状	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):12-12 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。「失神発作」と「てんかん発作」の鑑別	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):13-13 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。神経調節性失神の非薬物治療	安部 治彦	循環器・腎臓内科
Arrhythmia Focus 2(Sup1):14-14 (2007年2月)	ワンポイントアドバイス。失神患者と自動車運転	安部 治彦	循環器・腎臓内科
World Gastroenterol 12(21):3314 - 3323 (2006年6月)	Consensus of primary care in acute pancreatitis in Japan.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Dig Endosc 18(3):218 - 220 (2006年7月)	New device to perform coagulation and irrigation simultaneously during endoscopic submucosal dissection using an insulation-tipped electrosurgical knife.	Kume, K.	消化器・代謝内科
Gastrointest Endosc 64(1):108-112 (2006年7月)	Grasping forceps-assisted endoscopic mucosal resection of early gastric cancer with a novel 2-channel prelooped hood.	Kume, K.	消化器・代謝内科

10件

110件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointest Endosc 64(6):958 - 965 (2006年12月)	A novel method of endoscopic submucosal dissection with blunt abrasion by submucosal injection of sodium carboxymethylcellulose: an animal preliminary study.	Yamasaki, M.	消化器・代謝内科
Intern Med 46(2):109-113 (2007年1月)	Chronic pancreatitis and pancreatic cancer, lifestyle-related diseases.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
産婦治療 92:610 - 612 (2006年4月)	ストレスと漢方	岡 孝和	神経内科
臨床精神薬理 9(5):991-994 (2006年5月)	不安とストレス性高体温症	岡 孝和	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:143 - 147 (2006年6月)	High-frequency oscillations in the human motor system	Uozumi, T.	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:135 - 142 (2006年6月)	Mechanism of voluntary and involuntary movements in humans	Tsuji, S.	神経内科
Brain Med 18(2):73-75 (2006年7月)	What can we see in a single picture?	由比 友顕	神経内科
Supplements to Clinical Neurophysiology 59:159 - 165 (2006年7月)	Origine and characteristics of high-frequency (>500Hz) SEP components directly recorded from the cervical cord, thalamus, and cerebral cortex	Akamatsu, N.	神経内科
Evolv Kampo 2(1):54-57 (2006年7月)	Role of Kampo in Treating Stress-related Diseases and Pre-morbid Health Problems	Oka, T.	神経内科
産業医学レビュー 19(2):109-119 (2006年8月)	職業性ジストニア～我が国における現状～	玉川 聡	神経内科

10件

120件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨神経 46(8):572-574 (2006年8月)	IgG 抗カルジオリピン抗体高値をみとめ深部静脈血栓症をくりかえしたギラン・バレー症候群の1例	小堀 伸一郎	神経内科
Neurosci 141(2):1069-1086 (2006年9月)	<i>Prolactin-releasing peptide is a potent mediator of stress responses in the brain through the hypothalamic paraventricular nucleus</i>	Mera, T.	神経内科
J UOEH 28(3):265-275 (2006年9月)	<i>Cyclooxygenase System Contributes to the Maintenance of Post Convulsive Period of Epileptic Phenomena in the Genetically Epileptic EL Mice</i>	Okada, K.	神経内科
BRAIN RESEARCH 1102 :175-178 (2006年9月)	Ameliorative effect of pioglitazone on seizure responses in genetically epilepsy-susceptible EL mice	Okada, K.	神経内科
臨脳波 48(9):553-560 (2006年9月)	不随意運動の診かた(1)	魚住 武則	神経内科
心身医 46(10):907-913 (2006年10月)	心理社会的ストレスにより誘発された蕁麻疹の1例	林田 草太	神経内科
日心療内誌 10(4):243-246 (2006年10月)	37℃を境として体温上昇に伴い倦怠感が増強した慢性ストレス性高体温症の1例	岡 孝和	神経内科
心療内科 10(5):349-353 (2006年10月)	マレイン酸フルボキサミンが有効であったストレス性と考えられた微熱の1例	金田 悠子	神経内科
臨脳波 48(10):622-628 (2006年10月)	不随意運動の診かた(2)	魚住 武則	神経内科
神経内科 64(5):487-492 (2006年11月)	Parkinson 病での電気生理学的検査の意味	玉川 聡	神経内科

10件

130件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨脳波 48(11):657- 664 (2006年11月)	小脳磁気刺激の臨床応用	魚住 武則	神経内科
臨脳波 48(11):651- 655 (2006年11月)	ヒト運動野への transcranial DC stimulation が SEP に及ぼす効果	辻 貞俊	神経内科
Brain Med 18(3):77 - 79 (2006年11月)	What can we see in a single picture? クロイツフェルト・ヤコブ病 (GJD)	武井 崇展	神経内科
Brain Med 18(1):95 - 97 (2006年11月)	What can we see in a single picture? 脳髄黄色腫症 (Cerebrotendinous xanthomatosis)	武智 詩子	神経内科
神経治療 23(5):471- 472 (2006年11月)	特集/経頭蓋磁気刺激法 -脳刺激が神経・精神疾患の治療法として有用か-特集にあたって	辻 貞俊	神経内科
神経治療 23(5):489- 492 (2006年11月)	特集/経頭蓋磁気刺激法 -脳刺激が神経・精神疾患の治療法として有用か- 経頭蓋磁気刺激法のでんかん治療への応用	赤松 直樹	神経内科
臨脳波 48(11):651- 655 (2006年11月)	ヒト運動感覚野への transcranial DC stimulation が SEP に及ぼす効果	辻 貞俊	神経内科
Movement Disorders 21(11):1963 - 1966 (2006年11月)	Unilateral Positive-Negative Myoclonus in Creutzfeldt-Jakob Disease	Ohnari, K.	神経内科
American J of Medical Genetics Part B (Neuropsychiatric Genetics) 141B:929-934 (2006年12月)	Possible Role of Preproghrelin Gene Polymorphisms in Susceptibility to Bulimia Nervosa	Komaki, G.	神経内科
モダンフィジシャン 27(1):37- 39 (2007年1月)	ふるえとけいれんの鑑別のポイント	赤松 直樹	神経内科

10件

140件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Evolv Kampo 2(1):54 - 57 (2007年1月)	Role of Kampo in Treating Stress-related Diseases and Pre-morbid Health Problems	Oka, T.	神経内科
臨床神経科学 25(1):102-103 (2007年1月)	連続磁気刺激の実際	武智 詩子	神経内科
Clin Neurosci 25(3):308 - 311 (2007年3月)	進行性ミオクローヌスてんかん	赤松 直樹	神経内科
日アルコール精医誌 13(1):27-32 (2006年4月)	アルコール依存症を伴う double depression にパロキセチンが有効であった1症例：血中 catecholamine, BDNF, cytokines 動態からの検討	吉村 玲児	神経・精神科
臨精薬理 9(4):563- 569 (2006年4月)	抗うつ薬の効果と用量反応性	中村 純	神経・精神科
J Affect Disord 91(2-3):139- 144 (2006年4月)	Mental effect of cholesterol in males : Protective effect ?	Soeda, S.	神経・精神科
医薬ジャーナル 42(4):1215-1220 (2006年4月)	うつ病治療はこのように行われる—治療薬の使い分けとコツ—	吉村 玲児	神経・精神科
Pharm Med 24(5):15-18 (2006年5月)	職場のうつ病対策：早期発見から職場復帰まで	中村 純	神経・精神科
脳と循環 11(2):141-144 (2006年5月)	脳卒中患者のせん妄	中村 純	神経・精神科
Ther Res 27(5):869-886 (2006年5月)	うつ病・うつ状態およびパニック障害患者における塩酸パロキセチン水和物パキシル錠の長期使用に関する調査	中村 純	神経・精神科

10件

150件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心療内科 10(3):174-178 (2006年5月)	自殺予防プログラム	小嶋 秀幹	神経・精神科
Eur Neuropsychopharmacol 16(4):248-259 (2006年5月)	Dopamine D2 receptor gene variants and quantitative measures of positive and negative symptom response following clozapine treatment	Shinkai, T.	神経・精神科
臨精薬理 9(6):1191-1197 (2006年6月)	Quetiapine への置換による血中プロラクチン濃度の変化	堀 広子	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(4):701-707 (2006年6月)	Risperidone in the treatment of psychotic depression	Goto, M.	神経・精神科
Psychiatry Clin Neurosci 60(3):389-393 (2006年6月)	Successful treatment for obsessive-compulsive disorder with addition of low-dose risperidone to fluvoxamine: Implications for plasma levels of catecholamine metabolites and serum brain-derived neurotrophic factor levels	Yoshimura, R.	神経・精神科
老年精医誌 17(6):638-643 (2006年6月)	高齢のせん妄患者に対する薬物療法	堀 広子	神経・精神科
福岡県医報 1373:5-5 (2006年7月)	自殺問題を考える	中村 純	神経・精神科
臨精薬理 9(8):1511-1518 (2006年8月)	自殺予防とうつ病の治療	吉村 玲児	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(6):1125-1128 (2006年8月)	Lithium and dementia: A preliminary study	Terao, T.	神経・精神科
臨精医 35(8):1047-1051 (2006年8月)	病休・退職者の動向とうつ病	小嶋 秀幹	神経・精神科

10件

160件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日精協誌 25(8):19-24 (2006年8月)	企業におけるメンタルヘルス活動と精神科医療	中村 純	神経・精神科
Neuromolecular Med 8(3):375-380 (2006年9月)	No association between a functional NAD(P)H : Quinone oxidoreductase gene polymorphism (Pro187Ser) and tardive dyskinesia	Hori, H.	神経・精神科
NeuroMolecular Med 8(3):381-388 (2006年9月)	Association study between functional polymorphisms in the cytochrome P450 1A2 and 2D6 genes and polydipsia in schizophrenia	Shinkai, T.	神経・精神科
最新精神医 11(5):427-432 (2006年9月)	うつ病の不眠の診断と治療	吉村 玲児	神経・精神科
Med Pract 23(9):1581-1586 (2006年9月)	精神疾患	中村 純	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 30(7):1359-1363 (2006年9月)	Plasma levels of brain derived-neurotrophic factor and catecholamine metabolites are increased during active phase of psychotic symptoms in CNS lupus: A case report	Ikenouchi, A.	神経・精神科
Psychopharmacology 187(4):526-527 (2006年9月)	Effects of repeated milnacipran administration on brain serotonergic and noradrenergic functions in healthy volunteers	Soya, A.	神経・精神科
臨精医 35(9):1189-1193 (2006年9月)	修正型 ECT が著効した精神病性うつ病の 1 例 brain-derived neurotrophic factor (BDNF) とカテコールアミン代謝産物の血中濃度動態からの検討	吉村 玲児	神経・精神科
臨薬理 37(5):279-282 (2006年9月)	今後わが国に導入予定の抗うつ薬	吉村 玲児	神経・精神科
精神誌 108(9):997-1003 (2006年9月)	症状精神病	中村 純	神経・精神科

10件

170件